

サイバーフィジカル融合社会における行動マネジメント

Keyword: サイバーフィジカル融合社会、集団行動のマネジメント、災害レジリエンス

情報通信技術 (ICT) の進展と共に、現実世界とサイバー空間の融合が進んでいます。遊橋研究室では、サイバーフィジカル融合社会の到来を見据え、情報化の光を伸長し、影を縮小させるため、ICTを活用した行動マネジメントの研究、および先進的なICTサービスの社会実装支援をおこなっています。

■マイクロ/マクロ行動分析に基づく社会集団のマネジメント

スマートフォンやウェアラブルデバイスから取得した高次元データや、環境センサーやクラウドサービスから得られるビッグデータを認知行動科学の観点から分析し、人間行動のリアリティを捉えます。また、人間が集団化した際、ICTを活用することで創発的な効果を引き出すためのマネジメント方法を検討し、実証実験をおこなっています。

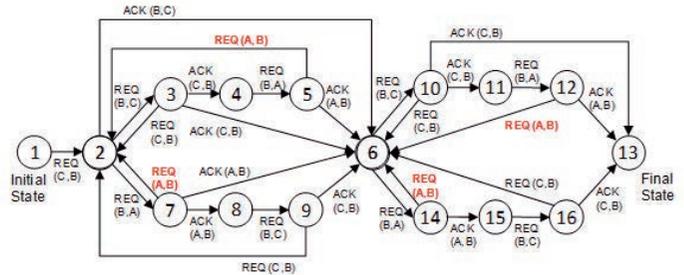


図 3社関係のコーワークコミュニケーションモデル

■モバイルICTサービスの社会実験/インキュベーション

クラウド環境とソフトウェアのオープン化によって、個人がDIYで多彩なコンテンツ/アプリケーションを作ることが可能となってきた。さらに、3Dプリンタや高次元/ビッグデータを組み合わせることで、地方自治体や中小企業・団体レベルでソーシャルイノベーションを起こすことができる時代に入りつつある。官学・産学連携によって、時代を先取りしたICTサービスの社会実装に取り組み、情報の力によるソーシャルイノベーションを推進しています。

■災害に強い情報社会に向けたソーシャルソリューション

近い将来の発生が懸念されている東海・東南海・南海3連動地震や首都直下型地震など大規模災害に備えるべく、東日本大震災における情報行動を検証すると共に、社会のレジリエンス (抵抗力/復元力) を高めるようなICT利用方法の提案・実証実験をおこなっています。

・特筆すべき研究ポイント:

民間企業出身の研究者で、授業ではICT商品・サービスのマーケティングやビジネスプランニングを担当しています。ビジネスに直結した研究に強みを持っています。

・特許等出願状況:

- [1] 特許第3724695号「インターネットを利用した電子教育システム」(1999.10)
- [2] 特許第3735611号「アンテナ」(2003.3)
- [3] 特許第3867058号「認証システム及び認証プログラム」(2003.3)
- [4] 特許第3930866号「コンテンツ利用システム」(2004.3)



遊橋 裕泰

学院情報学領域
行動情報学系列
准教授

■ 技術相談に応じられる関連分野

- ICT商品・サービスのビジネスプランニング、マーケティング
- モバイルやセンサーデバイスを用いた行動情報の収集および利活用
- ICTを活用した集団行動・組織行動のマネジメント
- ICTを活用した防災・減災サービス
- 中長期戦略の企画立案コーディネート
- アイディアソン/ハッカソンなどのファシリテート

■ その他の研究紹介

- 経済産業省・e!プロジェクトで六本木ヒルズを世界最先端のICT都市化
- 愛知万博へ「おサイフケータイ」のプロトタイプを投入して実証実験
- 青少年向けケータイフィルタリングサービスの方式検討
- モバイル空間統計サービスの事業デザイン検討